



2023年度版



森の賢者“ふうた”

# 日本代協は、 今こんな活動をしています!!

教育・研修  
活動

調査・研究・及び  
提言活動

損害保険の普及と  
消費者・保険契約者の利益を守るために、  
損害保険代理店及び  
募集人の資質向上に努めています。

地球環境保全  
活動

啓発・宣伝  
活動

地域社会貢献  
活動

日本代協ホームページ  
<https://www.nihondaikyo.or.jp/>

日本代協

検索



一般社団法人

日本損害保険代理業協会(日本代協)

# 代理店及び募集人の資質向上に向けた 教育・研修活動



## 損害保険大学課程教育プログラムの運営



損害保険  
トータルプランナー  
認定バッジ

一般社団法人日本損害保険協会(損保協会)は、損保協会の「損害保険代理店専門試験」と日本代協の「保険大学校・認定保険代理士制度」を統合した「損害保険大学課程」を、2012年7月から展開しています。この制度の運営にあたり、日本代協は指定教育機関として、教育プログラムの策定・運営を行い、業界全体の募集人教育を下支えしています。

損害保険大学課程の「コンサルティングコース」は、「専門コース」で修得した損害保険に関する法律・税務等の知識を基に、より実践的な業務スキルを修得するコースで、お客さまに総合的なコンサルティングを実践できる募集人の育成を目指しています。修了・試験合格者は、損保協会認定の募集人資格の最高峰である「損害保険トータルプランナー」の称号が付与されます。

## 日本代協アカデミー

顧客本位の業務運営を基軸として積極的に経営努力を重ねる代協会員の自己研鑽を支える日本代協独自の教育制度として、2019年3月に開始し、2023年4月より新システムに移行し、展開しています。

今や保険代理店に必須となっている募集人に対する代理店独自の教育を代理店目線で構築し、学習履歴の記録保存機能も備えたシステムです。「コンプライアンス学習」「公的保険学習」「代理店経営のヒント」など

### 日本代協アカデミーの3つの柱

- i. 代理店経営の高度化に対応するための「組織力強化研修」メニュー
- ii. 募集人一人ひとりのレベルアップを図るための「基礎教育研修」メニュー
- iii. 収益向上のための「実践的研修」メニュー

多くのコンテンツが揃っています。代理店自身の年間教育・研修計画に組み入れて継続的に資質向上を図ることができる環境を提供しながら、保険代理店の世界に「学ぶ文化」を広げていくことを目指しています。



日本代協アカデミー  
案内チラシ



日本代協  
アカデミー申込

## 代協会員向けセミナー

日本代協、各都道府県代協は、会員向けに「経営マネジメント」や「防災・減災の取組み」等、本業に資する様々なセミナーを開催しています。また、総会や賀詞交歓会、記念式典等に保険会社等の業界関係者を招待し、交流を深めています。



京都代協  
「あきらめない人生」  
(2022年5月25日)



静岡県代協  
「プロ代理店のビジネススタイル  
変革」(2022年10月25日)



新潟代協  
「ガバナンスについて 保険代理店の  
経営力向上と環境変化における  
保険代理店の将来ビジョン」  
(2022年10月26日)



佐賀県代協  
「この時代に生きている私たちに  
必要なSDGs」  
(2022年11月25日)

## 日本代協コンベンション

日本代協は、全国の代協会員が「集い・語り・高め合う」学びの場として、また、業界関係者を含めた情報交換と経験交流を行う場として、毎年11月に代協会員手作りのコンベンションを開催しています。コンベンションでは、毎年テーマを定め、1日目に功労者表彰と代協会員懇談会並びに基調講演、2日目は基調講演を掘り下げた分野毎の分科会を開催し、代協会員が自己研鑽に励んでいます。

2022年度は、「シン・代理店価値 ～顧客価値と代理店価値、変革の焦点を定める～」をテーマに、3年ぶりにリアル開催しました(懇親会の開催は見合わせ)。



式典(2022年11月18日)



小田島会長挨拶



功労者表彰



分科会の様子(2022年11月19日)

# 消費者・保険契約者の利益を守るための 調査・研究・及び提言活動



## 「活力ある代理店制度等研究会」を開催

保険代理業を「若く優秀な人材が活き活きと活躍することができる産業」とすることが、損害保険の普及と消費者・保険契約者の保護に一層貢献すると考え、加速する環境変化に対応し、将来展望を描ける代理店制度のあり方について検討を行うため、日本代協の特別会員である保険会社4社と、2007年度に「活力ある代理店制度等研究会(活力研)」を立ち上げ、論議を続けています。

2022年度は、7月に「実態調査結果による、代手ポイント変動のチャネル分析」「火災保険基準代手率変更に関する対応」「ドライブレコーダー特約の推進を題材として、保険会社と代理店のコミュニケーションギャップの解消法を考える」をテーマに、3月には「あるべき代手ポイント制度について」「各保険会社から専業代理店に期待すること」をテーマに、識者の意見も踏まえながら論議を行いました。



活力ある代理店制度等研究会(2022年7月21日)

## 保険契約者等の利益保護に資する 募集の公平性の維持

日本代協は、消費者の利益保護のためにはリスク分析や商品提案・説明力、事故発生時の対応等が優れた代理店が契約者に選ばれる環境にしていくことが重要であると考え、募集の公平性を維持し、不公正な競争を排除する取り組みを進めています。

保険以外の他の商品との抱き合わせ販売、不当な契約乗換え、災害に便乗した悪質な業者対策等、消費者が不利益を被っている事案がないか、継続的にモニタリングを実施し、法律等の制度やルールに及ぶ問題であれば、保険会社や行政に対して情報提供を行い、改善を求めています。



不正募集

## 業界標準化に向けた 提言活動

自由化の進展により、各社の独自性が発揮されることは消費者にとって好ましいことですが、逆に、消費者にとって共通化や標準化が望ましい領域まで無用な競争を拡大させた場合には、商品やサービスの複雑化を招き、契約者の理解を妨げることにもなります。日本代協では、消費者の利便向上、業務効率化を目的に共通化・標準化が望ましいと考えられる項目を損保協会に提言しています。

### 【共通化・標準化を提言する検討視点】

- 1 契約者にとっての分かりやすさ・利便性の向上(トラブル・不信、無用なロードの抑制)
- 2 代理店・募集人の業務効率化(顧客対応時間の確保、生産性向上)
- 3 保険会社のコスト削減(保険料引き上げ抑制)
- 4 環境変化への対応(新たな共通化・標準化領域の検討)

## 代理店賠償「日本代協新プラン」を提供

日本代協は、保険契約者保護の観点から、資質向上、代理店経営品質向上に努める一方で、万一、契約者にご迷惑をかけた場合(保険業法第283条による賠償事案)の賠償資力が確保できるよう、代理店賠償責任保険「日本代協新プラン」を代協会員に提供しています。

2023年3月末現在 9,646店の代協会員が加入しています。



代理店賠償  
『日本代協新プラン』のご案内

# 損害保険の普及に関する 啓発・宣伝活動

## 学校教育への取り組み

日本代協及び代協会員は、地域に根差した「リスクアドバイザー」として、また、「保険実務の専門家」として、地域の子どもたち、学生に対する学校教育に取り組んでいます。

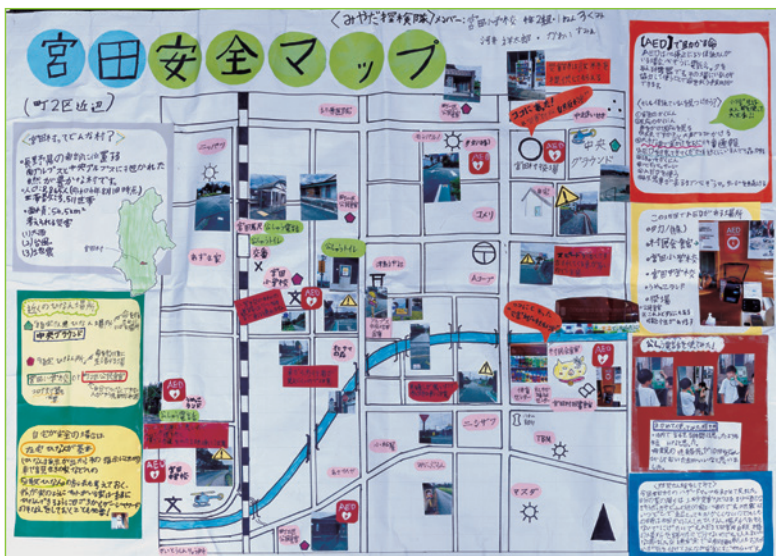
### 小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

「ぼうさい探検隊」とは、損保協会が実施する「子どもたちが楽しみながら、まちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備等を見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラム」です。

日本代協では、損保協会と連携し、代協会員自らマップ作成指導や普及に取り組んでいます。

また、2014年度から、マップコンクールの表彰でキッズリスクアドバイザー賞（日本代協賞）を提供しています。

2022年度 代協会員が指導し応募した210団体・324作品のうち、1作品がキッズリスクアドバイザー賞（日本代協賞）、1作品が防災担当大臣賞、8作品が佳作に見事入選



キッズリスクアドバイザー賞（日本損害保険代理業協会賞）  
（宮田探検隊：長野県代協）



防災担当大臣賞  
（蓮田安心探検隊：東京代協）

### 【キッズリスクアドバイザー賞（日本損害保険代理業協会賞）】

都道府県	学校名・団体名『チーム名』	紹介代協
長野県	みやだ探検隊『宮田探検隊』	長野県代協

### 【防災担当大臣賞】

都道府県	学校名・団体名『チーム名』	紹介代協
東京都	蓮田安心探検隊『蓮田安心探検隊』	東京代協

### 【佳作】

都道府県	学校名・団体名『チーム名』	紹介代協
東京都	北部探検隊『北部たんけん隊』	東京代協
神奈川県	ふたばっ子『ふたばっこ』	神奈川県代協
大阪府	大阪府堺市立英彰小学校『りこまある隊！』	大阪代協
京都府	京都朱六キッズ『京都朱六キッズ』	京都代協
岡山県	胸上探検隊『胸上探検隊』	岡山県代協
山口県	TGJ探検隊『TGJ探検隊』	山口県代協
大分県	ポラリス児童クラブ『5年ズ』	大分県代協
沖縄県	東浜ぼうさい探検隊『東浜ぼうさい探検隊』	沖縄県代協



## 高校生の自動車リスクへの対応

代協会員が講師となり、これから社会に出る高校3年生を中心に、自動車事故の具体事例や事故を起こした場合の様々な賠償責任、自動車保険の補償内容やチェックポイント等の解説を学校授業の一つとして実施しています。

2022年度  
4代協 17校 3,150名



山梨県代協(2023年1月23日)



富山県代協(2023年2月15日)

## 大学での保険募集関係の講座

損保協会が開講している「損害保険講座」の保険募集のパートを日本代協が担当し、日本代協役員や各代協の会長等が講義を受け持っています。

また、講師のスキルアップ・均質化を図るため「プレゼンテーションスキルアップ研修」を実施し、講師(日本代協認定講師)の育成にも努めています。

2022年度  
10名(通算61名)育成

## 消費者団体との対話活動

日本代協、各都道府県代協は、各地域で消費者団体と定期的に懇談会を行い、消費者の声に耳を傾け、その声を会員で共有することで、代理店・募集人の資質向上を図っています。

あわせて、行政・損保協会・金融審議会等に消費者の声を伝え、より良い保険の仕組み、保険商品の提供に反映させることで、消費者の利益に貢献する活動をしています。

2022年度は6代協で懇談会を開催



石川県代協(2022年12月2日)



愛知県代協(2023年2月10日)

## お客さま向け情報誌「みなさまの保険情報」の発行

お客さまに常に新しい情報をお届けするためのツールとして、情報誌「みなさまの保険情報」(年4回発行)を代協会員に斡旋し、現在約5万部が利用されています。



『みなさまの保険情報』

## メディアを活用したPR

日本代協は、消費者の皆さまに損害保険代理店並びに損害保険トータルプランナー等の活動をご理解いただくため、メディアを活用したPRを行なっています。

2022年度は、保険を選ぶ際に大切な事を分かりやすくシチュエーション別に説明した3本の動画を作成し配信しました。

なお、現在日本代協YouTubeチャンネルでも動画を公開しています。



日本代協YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCEULgRmix78mEWqug-UkBLQ>





# 地域社会貢

## 地震保険の啓発・普及促進

日本代協は、新潟県中越地震が発生した10月を「地震保険の月」と定め、「地震保険の保険金は被災時の生活再建資金となり、生活の早期安定に資する」ことを毎年全国で訴えています。



北海道代協(2022年10月11日)



栃木県代協(2022年10月30日)

各種ボランティアや地域に密着した継続的な活動を通じて、地域社会への貢献に取り組んでいます。

2022年度は40代協で計210回の活動

また、消費者に関心の高いテーマを選び、全国各地で公開講座を開催しています。

2022年度は4代協・5ブロックで計10回の公開講座を開催し、1,789名の参加

## 無保険車追放の取り組み

交通事故が起きた場合、被害者だけでなく、加害者にも賠償責任義務による金銭的負担や精神的負担が強いられます。日本代協では、毎年9月に国土交通省と共同で、交通事故被害者の対人賠償の確保と加害者の経済的負担を補う自賠責保険の普及を目的とした「無保険車追放キャンペーン」を実施しています。



奈良県代協(2022年9月22日)



広島県代協(2022年10月26日)



宮城県代協(2022年11月5日)

## 交通安全



福井県代協  
自転車安全教室  
(2022年4月4日)



徳島県代協  
交通安全キャンペーン  
(2022年9月23日)

## 自動車等の盗難対策

日本代協は、2012年度より「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム(警察庁主管)」に参画し、盗難防止対策に取り組んでいます。また、損保協会が、10月7日「トーン(盗難)防止の日」に盗難多発地域で行っている街頭啓発活動を該当地域の代協が協力しています。



「子ども110番の保険代理店」ステッカー

# 献活動



## 献 血



神奈川県代協  
献血活動  
(2022年5月26日)



福島県代協  
献血活動  
(2022年11月5日)



東京代協  
献血活動  
(2023年2月4日)

## 社会貢献活動



長崎県代協  
両面反射リフレクター贈呈式  
(2022年4月22日)



青森県代協  
八戸支部創立40周年記念寄付  
(2022年5月26日)



鳥取県代協  
チャイルドシート寄贈  
(2022年10月17日)



大阪代協  
「大阪マラソン2023」ボランティア  
(2023年2月26日)



熊本県代協  
交通遺児募金贈呈式  
(2023年3月22日)

## 公開講座



上信越ブロック  
「大規模災害に学ぶこれからの地域防災、コロナ禍における避難の対応」  
(2022年10月4日)

## 「子ども110番の保険代理店」の全国展開

日本代協と全国47都道府県代協は、助けを求めてきた子どもを保護し、学校・警察等へ連絡する地域ぐるみで子どもを守るボランティア活動を展開しています。

代協会員が警察・地域住民・学校関係者などと相互に連携し、地域のリスクアドバイザーとして、「子どもたちが安全に暮らせる環境づくり」をより一層、支えていきたいと考えています。



宮崎県代協  
「宮崎県の大雨災害を考える」  
(2022年12月17日)

# 地球環境保全活動



地域の海岸・河川、道路、公園等の清掃活動を行っています。

2022年度は、30代協・1ブロックで  
計57回、2,053名が活動

## 清掃活動



岐阜県代協  
長良川を美しくしよう運動  
(2022年10月23日)



愛媛県代協  
石手川ダム上流域の河川清掃  
(2022年10月23日)



和歌山県代協  
おもてなし大清掃  
(2022年11月6日)



千葉県代協  
特別支援学校の清掃及びメンテナンス  
(2022年12月1日)



島根県代協  
宍道湖ヨシ刈り取りボランティア  
(2023年2月11日)



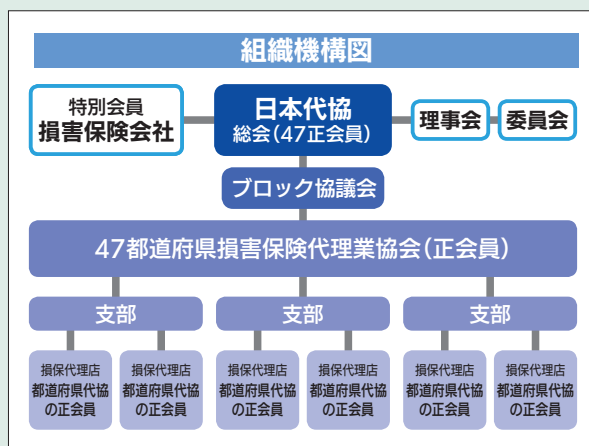
沖縄県代協  
ビーチクリーン活動in瀬長島  
(2023年3月19日)



山口県代協  
火の山公園清掃活動  
(2023年3月25日)

## 概要

- **設立**  
昭和23年設立、昭和39年大蔵省より社団法人の認可取得、平成25年内閣総理大臣の認可を得て一般社団法人へ移行
- **目的**  
都道府県損害保険代理業協会を会員とする団体で、次を目的としています。
  - ・ 損害保険の普及と保険契約者及び一般消費者の利益保護
  - ・ 損害保険代理店の資質向上
  - ・ 損害保険事業の健全な発展への寄与
  - ・ 幅広く社会に貢献するための活動
- **組織**  
本部と47都道府県損害保険代理業協会から構成されています。
- **代協会員(代理店)数**  
10,997店(2023年3月末現在)



一般社団法人

日本損害保険代理業協会



〒100-0004

東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル3階327区

TEL:03-6281-8356 FAX:03-6281-8358

※2023年5月より移転

URL: <https://www.nihondaikyo.or.jp/>